

# 2016年12月期 第1四半期 決算説明資料

2016年5月13日  
ユニ・チャーム株式会社  
代表取締役 社長執行役員  
高原 豪久

この資料には、2016年5月13日現在の将来に関する、前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

## ● 2.5%減収、11.8%営業減益

- ✓ 為替変動による影響を除くと 実質約3%増収、約7%営業減益
- ✓ 日本…パーソナルケア事業の高付加価値化加速
- ✓ 中国…新商品上市と販売チャネルの構造変化への対応

## ● 1Q業績進捗は、ほぼ計画どおり

- ✓ 日本…ヘルスケア事業が2桁成長、インバウンド関連も好調継続
- ✓ 中国…成長セグメントは好調に推移
- ✓ その他の地域…中東、ベトナムなど、好調に推移

## ● 通期見通しの変更はなし

- ✓ 1Q では先行的に費用を投下し2Q以降の効果を見込む
- ✓ 原油価格下落に起因する原材料価格は想定より若干ポジティブ

## ● 自己株式の買付け決議

- ✓ 取得する株式の総数 800万株(上限)
- ✓ 株式の取得価額の総額 140億円(上限)

# 2016年12月期第1四半期 決算概要

為替の影響を除けば、実質約3%増収も、アジアを中心に積極的なマーケティング費用を投下した結果、実質約7%減益

■ 連結決算ハイライト

(百万円)

	'16/12月期1Q	'15/12月期1Q	増減額	増減率	(参考) '16/12月期 公表値	進捗率
売上高	173,065	177,558	▲4,493	▲2.5%	777,000	22.3%
営業利益 利益率	15,039 8.7%	17,049 9.6%	▲2,010	▲11.8% (▲0.9%P)	87,000 11.2%	17.3%
経常利益 利益率	9,948 5.7%	13,993 7.9%	▲4,044	▲28.9% (▲2.2%P)	80,000 10.3%	12.4%
四半期純利益 利益率	8,517 4.9%	5,778 3.3%	2,739	47.4% (+1.6%P)	47,000 6.0%	18.1%
EPS(円)	14.30	9.62	4.68	48.6%	78.89	—

国内ではヘルスケア事業を中心に安定的な成長  
アジア市場では中国を中心に積極的なプロモーションを実施

## ■ 所在地別セグメント情報

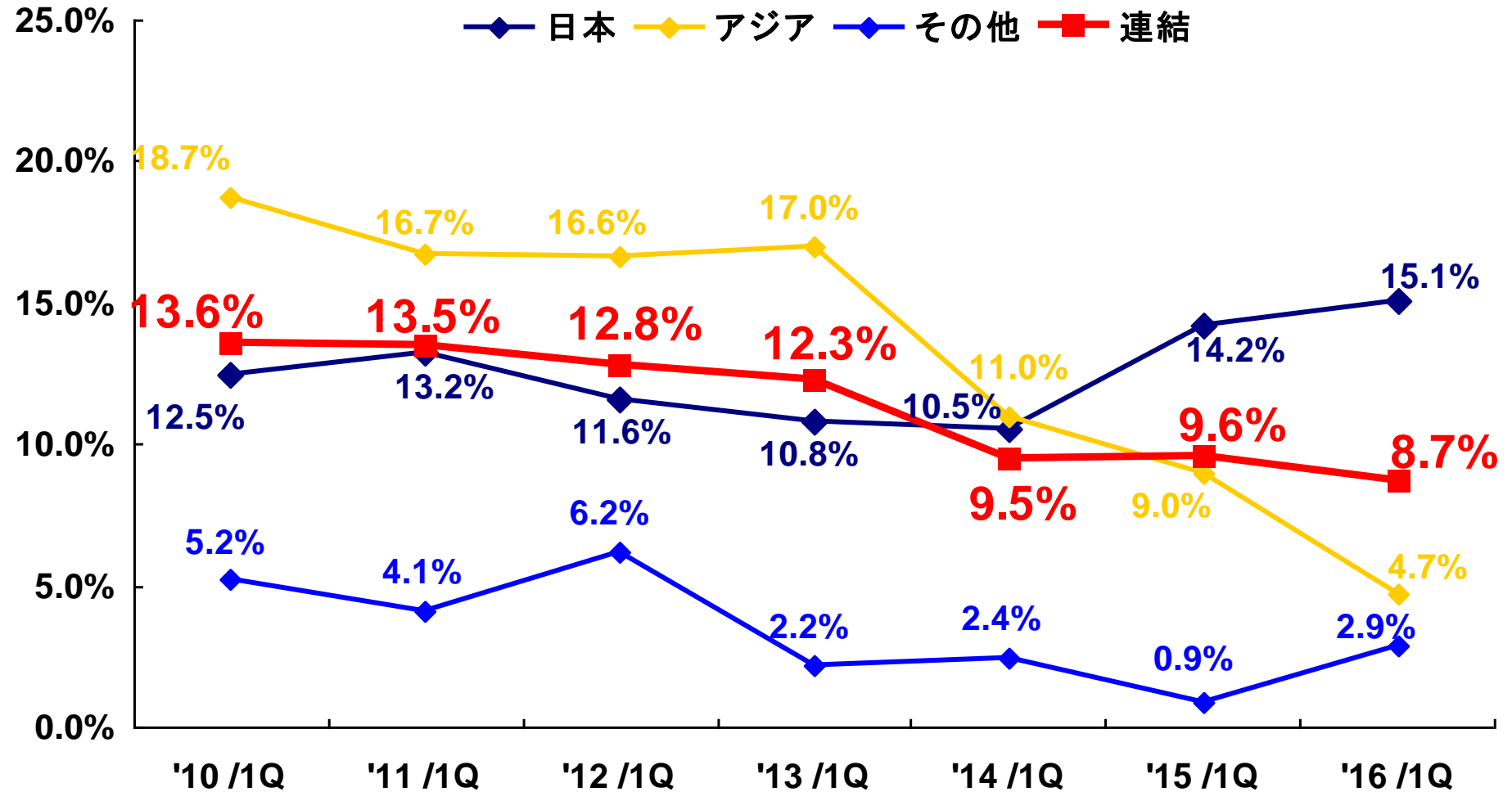
(百万円)

	‘16/12月期1Q		‘15/12月期1Q		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	増減額	増減率	増減額	増減率
日本	68,832	10,416 15.1%	64,215	9,131 14.2%	4,617	7.2%	1,285	14.1% (+0.9%P)
アジア	78,000	3,671 4.7%	86,679	7,770 9.0%	▲8,679	▲10.0%	▲4,098	▲52.7% (▲4.3%P)
その他※	26,232	770 2.9%	26,663	253 0.9%	▲431	▲1.6%	517	204.5% (+2.0%P)
消去 又は全社	-	180	-	▲105	-	-	286	-
連結	173,065	15,039 8.7%	177,558	17,049 9.6%	▲4,493	▲2.5%	▲2,010	▲11.8% (▲0.9%P)

※その他・・・主な地域は、U.S.A.、サウジアラビア、ブラジル、オランダ

# 日本において高付加価値商品の販売好調 アジアを中心とした先行的なマーケティング投資を実施

## ■ 所在地別 営業利益率

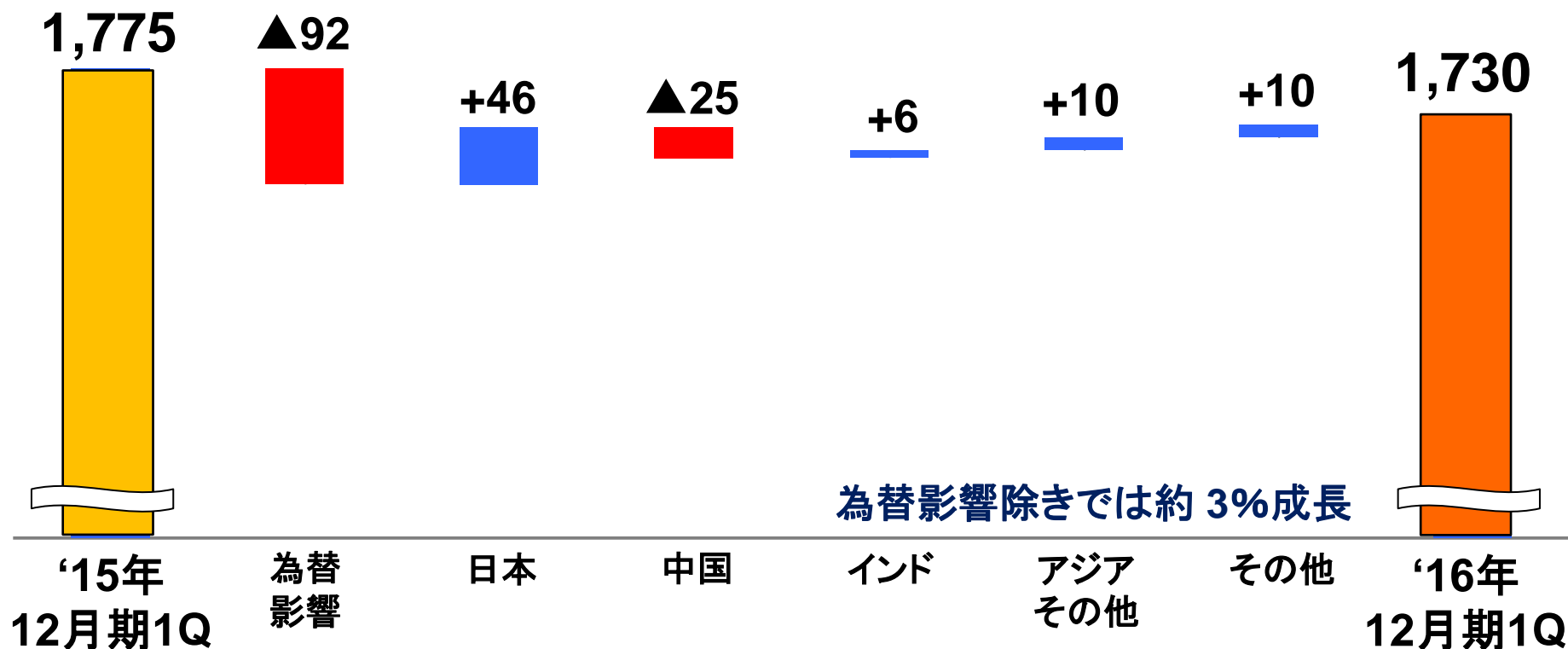


※その他・・・主な地域は、U.S.A.、サウジアラビア、ブラジル、オランダ

# 連結売上高は、決算上の換算における為替の影響はあったが ほぼ計画どおり推移

## ■ 連結売上高増減

(億円)

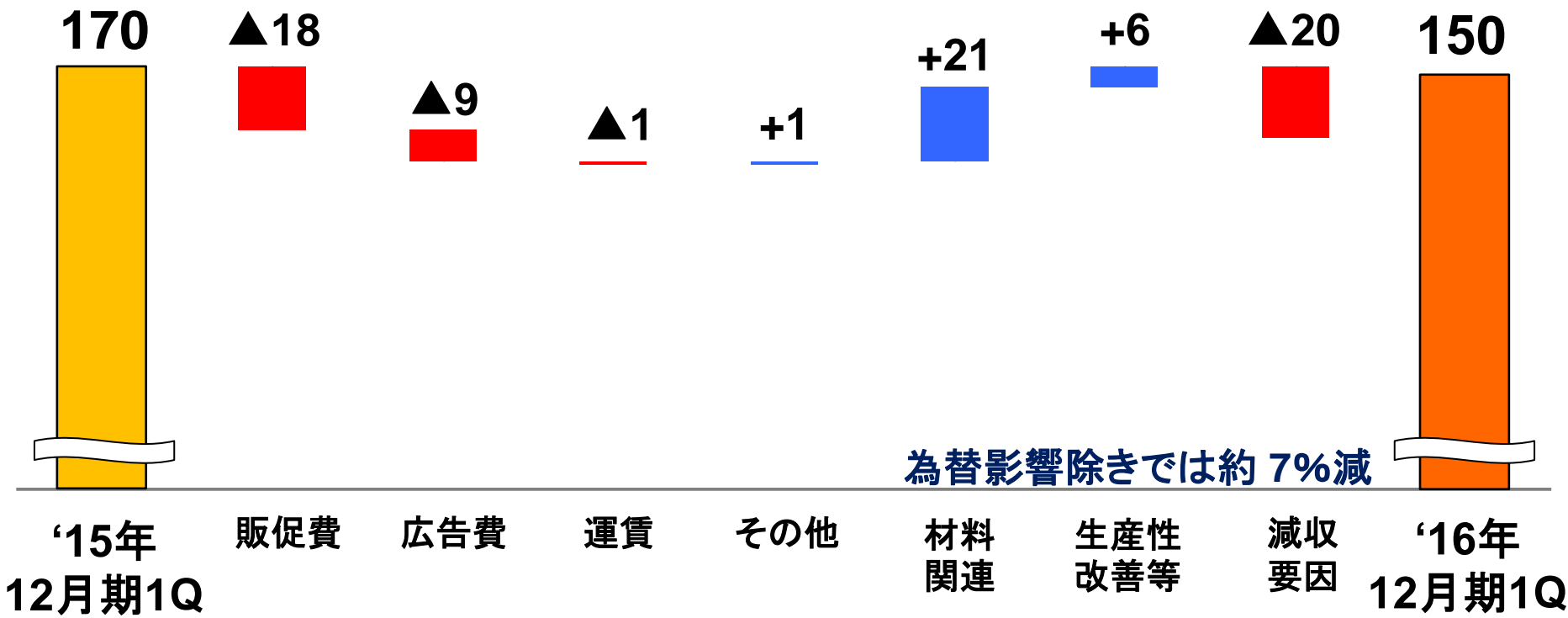


連結営業利益はアジアを中心にマーケティング費用を先行的に投下、  
 原材料メリットもあり、ほぼ計画どおり推移



■ 連結営業利益増減

(億円)





ペットケア事業は、国内では継続した新市場創造により増収、  
北米では高付加価値商品への入替によって収益改善

## ■ 事業別セグメント情報

(百万円)

	‘16/12月期1Q		‘15/12月期1Q		売上高		営業利益	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	増減額	増減率	増減額	増減率
パーソナル ケア	151,940	14,678 9.7%	156,245	16,810 10.8%	▲4,305	▲2.8%	▲2,132	▲12.7% (▲1.1%P)
ペットケア	19,696	288 1.5%	20,082	205 1.0%	▲385	▲1.9%	82	40.3% (+0.5%P)
その他※	1,429	72 5.1%	1,230	33 2.7%	198	16.1%	38	115.8% (+2.4%P)
消去 又は全社	-	-	-	-	-	-	-	-
連結	173,065	15,039 8.7%	177,558	17,049 9.6%	▲4,493	▲2.5%	▲2,010	▲11.8% (▲0.9%P)

※その他・・・産業用資材関連商品等

# 前年対比で売上高▲92億円、営業利益▲9億円の影響 (営業利益は換算▲2億円、原材料仕入時の影響▲7億円)

## ■ 為替変動による売上高、営業利益への影響

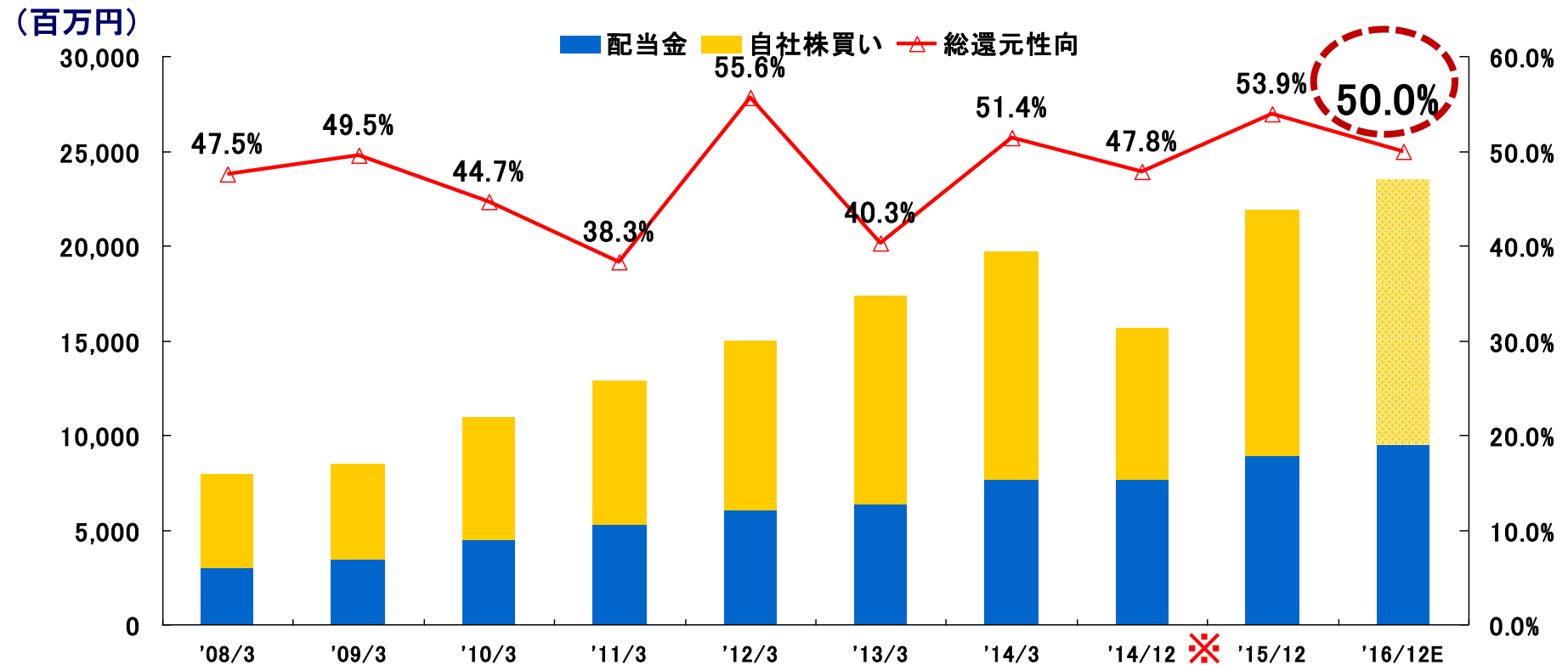
通貨	'16/12期1Qレート	'15/12期1Qレート	レート増減率
台湾(TWD)	3.49	3.78	▲7.7%
タイ(THB)	3.24	3.65	▲11.2%
韓国(KRW)	0.0962	0.1085	▲11.3%
インドネシア(IDR)	0.0085	0.0094	▲9.6%
マレーシア(MYR)	27.51	32.96	▲16.5%
オランダ(EUR)	127.23	134.18	▲5.2%
中国(CNY)	17.61	19.08	▲7.7%
フィリピン(PHP)	2.46	2.71	▲9.2%
サウジアラビア(SAR)	30.84	31.78	▲3.0%
インド(INR)	1.72	1.93	▲10.9%
米国(USD)	115.48	119.09	▲3.0%
ロシア(RUB)	1.55	1.90	▲18.4%
オーストラリア(AUD)	83.22	93.70	▲11.2%
ベトナム(VND)	0.0052	0.0056	▲7.1%

# 株主還元政策

---

# 2016年度も増配を継続し、自己株式140億円上限での取得を決議 総還元性向50%を予定

## 株主還元政策



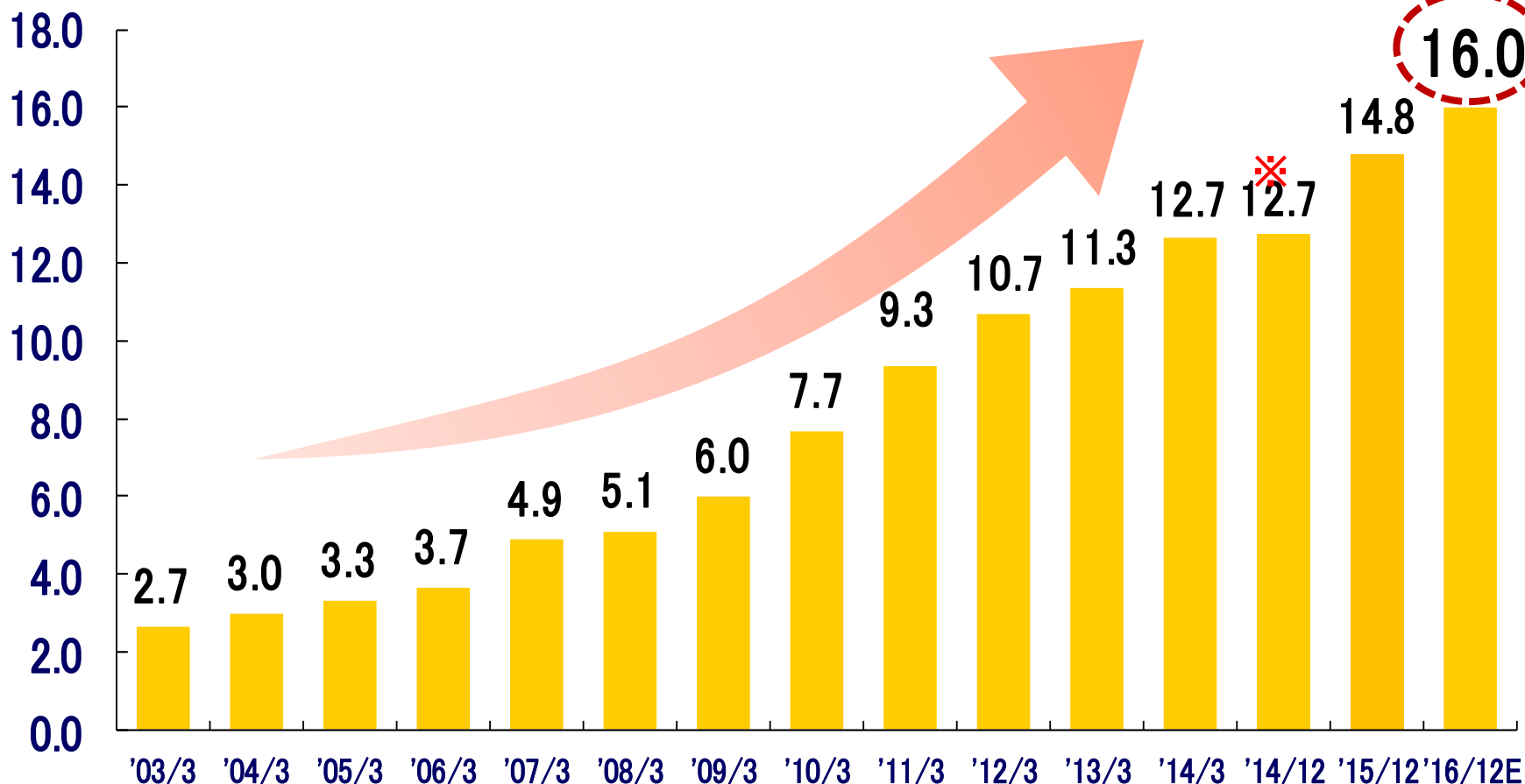
※2014年度は、会計年度9ヶ月の変則決算

継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**(配当性向20%目処)に利益還元を図っております。

# 安定的かつ継続的な配当を実施 15期連続増配を計画！

## ■ 配当金の推移

(円)



※2014年度は、会計年度9ヶ月の変則決算



ユニ・チャームは、  
世界中の全ての人々のために  
快適と感動と喜びを与えるような  
世界初、世界No.1の商品と  
サービスを提供し続けます。